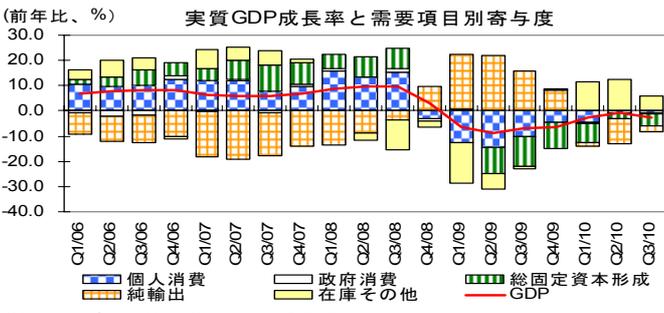
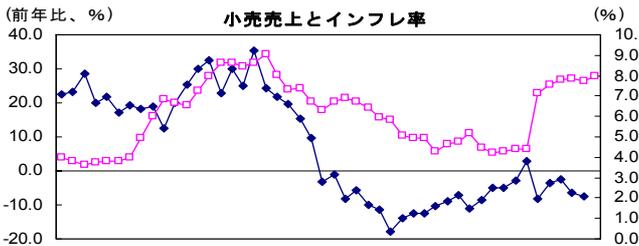
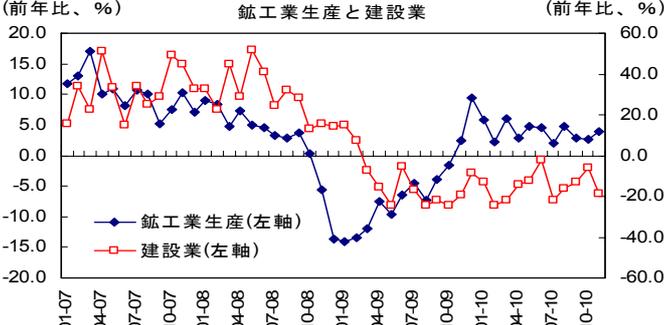


ルーマニア経済・金融概況
Main Economic & Financial Indicators (Romania)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費・物価・金利
<p>ルーマニアの第 3 四半期の実質 GDP 成長率は、前年同期比で ▲2.5%となり、同▲0.5%となった前期から悪化した。前期比 (季節調整済み) でも▲0.7%と同 0.5%となった前期から後退し、他の中東欧諸国と比べ、景気回復の遅れが目立っている。</p> <p>マイナス幅が拡大した主な要因は、総固定資本形成の落ち込みである。総固定資本形成は、建設業で大幅な落ち込みが続いていることを背景に、第 3 四半期は前年同期比▲13.7%となった。それに加え、金融危機前までの成長の牽引役であった個人消費の回復が進んでいないことも一因である。金融危機後の経済の急激な冷え込みで、それまで個人消費を後押ししてきた銀行貸出の伸びに急ブレーキがかかったことに加え、10 年 7 月の VAT 税率の 5%引き上げ (19%から 24%に引き上げ) や、公共機関における賃金の 25%カットなど非常に厳しい財政緊縮策が実施された結果、家計は圧迫され、個人消費は 8 四半期連続で前年比マイナスの伸びを示している。政府予測では、今後景気は緩やかに回復し、11 年の実質 GDP 成長率は前年比 1.5%を見込んでいる。</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>消費: 11 月の小売売上 (季節調整済み) は、前年同月比▲7.6%と、前月の同▲6.4%から悪化した。小売売上は 2008 年 11 月以降、VAT 税率 5%引き上げ前の駆け込み需要でプラスの伸びとなった 2010 年 6 月を除き、前年比でマイナスの伸びを続けている。今後も、公共部門において人員の 25%カットが予定されており、個人消費の低迷はしばらく続こう。</p> <p>物価: 12 月の消費者物価上昇率は前年同月比 8.0%と前月の同 7.7%から上昇した。項目別に見ると、食料品価格は、小麦粉やじゃがいも、生鮮果物などにおける価格上昇を受けて全体で同 6.45%上昇した。一方、世界的な原油価格の高騰を受けてガソリン価格が同 15.38%上昇したほか、間接税率引き上げによりタバコ価格が同 26.34%上昇した結果、非食料品価格は同 9.76%上昇している。</p> <p>金利: 中央銀行は 1 月 5 日、政策金利を 6.25%に据え置いた。民間部門向け銀行貸出の伸びの低迷に懸念を示す一方、12 月のインフレ率が前年比 8.0%と目標の 4.5%を大幅に上回ったことが据え置き判断につながった。</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成。小売売上の値は季節調整済み</p>
生産	政府財政
<p>11 月の鉱工業生産 (季節調整済み) は前年同月比+4.0%増加した。部門別では製造業が同+4.6%、電気・ガス・水道部門も同+1.9%とプラスの伸びを示した一方、鉱業部門は同▲3.9%となった。一方、11 月の建設業は同▲19.0%と大幅なマイナスの伸びが続いている。</p> <p>先行指標である製造業の新規受注指数は、10 月に前年比+14.0%増加した。新規受注指数は 1~9 月まで平均で前年同期比+25.9%と高い伸びを示してきた。しかし、ベース効果の剥落や欧州における需要の伸びの鈍化を背景に、輸出向け受注の伸びが前月の前年比+46.9%から同+21.2%に鈍化し、全体の上昇幅が縮小した。</p> <p>一方、統計局による 12 月の製造業景況感調査によれば、今後 3 ヶ月間で生産は減少するとの見通しが強くなっている。また雇用見通しも減少となっており、先行きは明るくない。建設業の景況感調査でも今後 3 ヶ月間は生産・受注共に減少が予測されており、雇用も減少するとの見通しが強い。</p>	<p>政府財政</p> <p>2010 年 11 月末までの累計政府財政赤字は 291 億レイと、前年同期の 309 億レイから減少した。歳入は VAT 税率引き上げ等で税収が増加した結果、606 億レイと前年同期比+21%増加した。一方、歳出は 897 億レイと同+11%増加した。</p> <p>2009 年 5 月に合意した IMF から 170 億ドルのスタンドバイ融資が 4 月をもって期限切れとなることを受け、新たな融資合意に向けて 1 月 25 日から交渉が開始された。しかし既に VAT 税率引き上げや公共部門の賃金削減により国民の政府に対する不満は高まっており、デモやストライキが全国で頻発している。このような中、IMF からの融資が継続されれば、徹底した財政緊縮が迫られることになり、国民の不満が更に高まれば、連立政権の足元が揺らぐ可能性もあろう。</p>
生産	国際関係
<p>生産</p>  <p>(資料)FactSetより、三菱東京UFJ銀行経済調査室作成。値は季節調整済み</p>	<p>国際関係</p> <p>ルーマニアはブルガリアと共に、欧州連合 (EU) 域内をパスポートなしで自由に入出国できる「シェンゲン協定」への参加を目指しており、3 月には理事会会合で参加可否をめぐり、投票が行われる予定である。しかし 1 月初頭、両国における汚職や組織犯罪対策、司法制度の整備が不十分として、ドイツとフランスが参加に反対する意を示した。これに対しルーマニアのパセスク大統領は、「ルーマニアは加盟条件を全てクリアしている。新たな条件の付加は差別的だ」と激しく反発し、EU 発足以来のメンバーである西欧諸国と新規加盟国である中東欧諸国との溝を浮き彫りにした形となった。また、ルーマニアの対仏関係は昨年 8 月のフランスにおける不法滞在ルーマニア人の強制送還以来、冷え込んでいる。</p>

ルーマニア経済・金融概況

1. 年、四半期

	2008	2009	2010	09/Q4	10/Q1	10/Q2	10/Q3	10/Q4
名目GDP実額 (10億米 ^ト ル)	204.2	163.4	-	52.7	32.5	34.8	41.5	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	7.3	-7.1	-	-6.5	-2.6	-0.5	-2.5	-
(民間消費支出) (y/y, %)	10.5	-9.4	-	-4.5	-4.1	-0.6	-1.1	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	19.0	-21.5	-	-31.4	-28.9	-9.5	-13.7	-
鉱工業生産 (季節調整済) (y/y, %)	2.5	-4.7	-	3.7	4.7	4.1	3.2	-
小売売上 (季節調整済) (y/y, %)	21.3	-10.1	-	-8.8	-8.3	-1.7	-4.8	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	7.9	5.6	6.1	4.6	4.6	4.4	7.5	7.9
失業率 (%)	4.4	7.8	-	7.5	8.3	7.8	7.4	-
平均貸金上昇率* (y/y, %)	22.9	7.7	-	1.0	5.6	3.5	-1.5	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	60.4	0.9	-	0.9	-1.6	6.4	4.5	-
貿易収支 (百万米 ^ト ル)	-34,409	-13,721	-	-4,020	-2,831	-3,597	-2,731	-
輸出額 (百万米 ^ト ル)	49,348	40,437	-	11,614	10,928	11,765	12,524	-
輸出伸び率 (y/y, %)	22.0	-18.1	-	13.1	27.3	23.2	15.1	-
輸入額 (百万米 ^ト ル)	83,757	54,158	-	15,634	13,758	15,362	15,255	-
輸入伸び率 (y/y, %)	19.2	-35.3	-	-11.0	19.9	19.1	5.8	-
経常収支 (百万米 ^ト ル)	-23,642	-6,834	-	-2,542	-2,311	-2,877	-817	-
資本収支 (百万米 ^ト ル)	26,034	9,738	-	1,971	6,029	2,160	2,861	-
対内直接投資 (百万米 ^ト ル)	13,895	4,323	-	117	716	865	885	-
外貨準備高 (百万米 ^ト ル)	36,868	40,757	-	40,757	43,133	38,790	44,483	-
対外債務残高 (百万米 ^ト ル)	100,576	116,530	-	116,530	117,630	107,702	121,937	-
株価指数	5,887.1	3,533.8	5,232.1	4,649.7	5,331.4	5,329.0	5,086.2	5,186.3
政策金利 **	10.25	8.00	6.25	8.00	6.50	6.25	6.25	6.25
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	13.04	11.72	6.75	10.38	7.37	6.25	6.87	6.51
Leu/USD	2.5211	3.0481	3.1821	2.8900	2.9757	3.2945	3.2920	3.1617
Leu/Euro	3.6848	4.2379	4.2116	4.2670	4.1151	4.1842	4.2543	4.2893
Leu/GBP	4.6306	4.7582	4.9135	4.7191	4.6375	4.9102	5.1044	4.9934

2. 月次

	10/05	6	7	8	9	10	11	12
鉱工業生産 (季節調整済) (y/y, %)	4.7	4.6	2.1	4.8	2.9	2.6	4.0	-
小売売上 (季節調整済) (y/y, %)	-2.8	2.9	-8.1	-3.7	-2.5	-6.4	-7.6	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	4.4	4.4	7.1	7.6	7.8	7.9	7.7	8.0
失業率 (%)	7.7	7.5	7.5	7.4	7.3	7.1	-	-
平均貸金上昇率* (y/y, %)	5.3	3.1	-2.5	-0.7	-1.4	-2.5	0.8	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	2.0	6.4	4.4	4.5	4.5	2.8	3.5	-
貿易収支 (百万米 ^ト ル)	-1,254	-1,159	-838	-800	-1,096	-1,024	-1,243	-
輸出額 (百万米 ^ト ル)	3,767	4,102	4,332	3,591	4,605	4,898	4,939	-
輸出伸び率 (y/y, %)	19.6	14.5	9.8	14.0	21.4	20.1	19.7	-
輸入額 (百万米 ^ト ル)	5,021	5,261	5,171	4,391	5,701	5,922	6,181	-
輸入伸び率 (y/y, %)	18.9	13.1	9.3	4.3	3.8	8.0	14.2	-
株価指数	5,097.8	4,927.4	4,894.2	5,184.7	5,179.7	5,247.0	5,152.4	5,163.4
政策金利 ** (期末値)	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	6.63	6.85	7.17	6.71	6.73	6.69	6.60	6.25
Leu/USD	3.3357	3.4746	3.3304	3.2876	3.2581	3.0790	3.1504	3.2481
Leu/Euro	4.1799	4.2445	4.2598	4.2395	4.2636	4.2795	4.2959	4.2920
Leu/GBP	4.8849	5.1288	5.0944	5.1445	5.0742	4.8839	5.0268	5.0615

(注) 貿易の値は通関ベース、貸金上昇率はネット、政策金利は2週間物中銀預かり金利

(資料) ルーマニア中央銀行、ルーマニア統計局、Eurostat、IMF

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。